



カイトレイル中の皆さん

800mを周回するトレッキングコースです。朝方まで降っていた雨は止み、ホテルを7時45分に出発しました。

参加人数は11名、ピジターセンターで自己紹介。準備運動をしてヘルメットを携帯し二班に分かれました。私達6名は若い女性のガイドさんで看護師さんでもある方を選び、後方には逞しい男性のサブガイドさんがついて下さいました。浅間山の登りは急勾配の道もあり、ロープを伝わりながら、長梯子を登ったりしました。途中何度も息苦しさを感じましたが、白樺混じりの木々の足元には、沢山のシダ類、茸類そして苔類が、宝石の様にキラ

キラと輝いて、私に元気を与えてくれました。

長梯子を登った先には、白玉、黒玉と呼ばれる植物が実をつけていて、2種類とも食することができました。黒玉はブルーベリーと同じ味がしました。最後の急勾配をロープ伝いに登ると、目指す鬼押出し溶岩の上に出ました。私は苦しかったこともありとても感激しました。

十月二十七日に勤労コミユニティセンターで表題のテーマで勉強会が行われました。講師は元銚子第一中学校校長の伊勢崎寛氏。



講演中の伊勢崎氏

幕末維新期の銚子

伊勢崎 寛氏

～榎本武揚艦隊の輸送船美加保丸遭難を通して～

昨年度の「銚子の歴史」田中玄蕃を通して」に続く講演会。幕末から維新期の戊辰戦争の流れの中で、銚子が関わった美加保丸遭難事件を中心に当時の銚子の様子を講演頂いた。

美加保丸事件は、ジオパークの黒生ジオサイトでのガイドで欠かせないテーマで、この事件が起こった時代背景、そして当時の銚子の市民や銚子を管轄する高崎藩の様子が解説された。

特に11代田中玄蕃が建てた美加保丸遭難者の墓が「南無阿彌陀佛」三品観王書碑の側にあることや、その碑の文字が新政府軍の東征大総督である有栖川宮熾仁親王のものであったことは、大変驚

きであった。有栖川宮親王の旧幕府軍に対する慰霊の念を感じ、ガイドをする上で大いに参考となった。

(編集部記載)

(新人紹介)

上田 修郎氏

(文化財・ジオパーク室)



9月29日の市民の会勉強会

今年4月に新しく文化財・ジオパーク室ジオパーク班に配属された上田専門員。出身は鹿児島県南九州市知覧町で、趣味はサウナ、温泉巡り。年齢は32才独身です。

「銚子に初めて来たとき、夜風が非常に強い日だったため、自然の脅威を強烈に感じる荒々しい街だという印象

秋のジオ俳句

この徳が終えて銚子に冬が来る

保立得造

磯菊や犬吠埼をつつみおり

大吉

秋晴れの屏風ヶ浦にドレス舞う

石嶋博行

の研究内容を吟味して、ジオストーリーに反映させていきたいと考えています。」とのこと。活躍を期待しています。

犬岩の清掃

保立 得造

9月18日9時からジオパーク市民の会ナルク銚子など参加者28名で犬岩の清掃を実施しました。ゴミの中身は車からのポイ捨て、釣り人の投げ捨て、海からの漂着ゴミです。地元の人、釣り客観光客の皆さんの環境意識

をいかに向上してもらえかが課題です。また、我々もゴミゼロに向けて小さな努力を重ねて行きたいと思っております。また犬岩の崖地では、今、ソナレムグラ、ハマゼリが満開です。その他沢山の植物が、四季折々に楽しませてくれます。この犬岩の近くの砂浜では、現在、消波堤工事が行われていますが、完成後はどのような海岸になるのかを注視していきたいと思っております。本日の清掃活動、お疲れさまでした。